

Ⅳ 目標・取組及び評価指標等の設定と評価

| 年 目 | 中期経営目標                     | 重 点 | 分 類 | 短期経営目標   | 目標達成に向けた取組   | 評価指標   | 中間評価（10月1日）   |        |      | 最終評価（2月末）   |                                |        |      |      |
|-----|----------------------------|-----|-----|--|--|--|---|--------|------|---|--------------------------------|--------|------|------|
|     |                            |     |     |  |  |  | □指標に係る取組状況  | プロセス評価 | 達成評価 | 改善方策  | □指標に係る取組状況<br>◎短期（中期）経営目標の達成状況 | プロセス評価 | 達成評価 | 総合評価 |
| 3   | ○全教室での「子ども主体の学び」の実現        | ★   | 継続  | ・「子どもの主体学びの実現」を意識した授業づくり・授業実践を通して、確かな学力の定着を図る。 | ・つけない力を明確にした単元づくり<br>・適切な学習課題設定<br>・児童の言葉や気づきでつなぐ授業づくり<br>・SDGs教育の推進               | ・主体的で深い学びに関するアンケート項目における児童の肯定的回答80%以上<br>・国・算・理テスト80点以上の児童80%以上            | □「主体的・対話的で深い学び」に関する質問項目の肯定的回答89.3% つけない力を明確にした単元づくりの交流・検証を行った。<br>□国・算・理テスト80点以上の児童87% 基礎基本を定着させるために個に応じた手立ての工夫を行った。          | 3      | 3    | ・解決する必然性のある課題を児童と共に作る。<br>・自己の変容や学びの実感のある振り返りをし、学習の目的を明確にする。<br>・つけない力を明確にした単元づくりを継続して行う。                           |                                |        |      |      |
| 3   | ○教育活動全般を通じた児童の自己肯定感の高揚     |     | 継続  | ・自他のよいところを認め、優しく助け合う児童の育成を図る。                  | ・教育相談体制の充実（組織的な生徒指導体制の確立）<br>・全教職員による児童一人一人の情報共有                                   | ・児童アンケートによる「自分にはよいところがある」「友だちのよいところをみつけようと思う」と回答する児童85%以上                  | □児童アンケートで「自分にはよいところがある」肯定的回答69.7% 「友だちのよいところをみつけようと思う」肯定的回答84.9% 自己肯定感の低い児童の割合が昨年度より大きくなった。                                   | 3      | 3    | ・学校生活の様々な場面で児童の頑張りを感じる声掛けを続けていく。授業の中でも児童の発言や行動に対して肯定的評価をする場面を増やすよう意識して取り組む。<br>・道徳科や学活で児童の相互評価を充実させる。               |                                |        |      |      |
| 2   | ○児童の健やかな心と体の育成             | ★   | 継続  | ・自分の健康や体のことを意識して生活する児童の育成を図る。                  | ・体を動かす運動や遊びの紹介、実施<br>・体育の時間と家庭学習をつなげた運動の実施<br>・日常的な学級指導に加え、時宜を得た養護教諭等による保健指導       | ・児童アンケートによる「体を動かすことが楽しい」と回答する児童80%以上<br>・ノーメディア週間における平日のメディア視聴時間1時間以内70%以上 | □児童アンケート「体を動かすことが楽しい」と肯定的回答88.4% 全校での外遊びなど楽しく体づくりができた。<br>□ノーメディア週間における平日のメディア視聴時間1時間以内82% 保護者の協力も得られ達成できた。家族の会話が増えるなど成果もあった。 | 4      | 4    | ・引き続き「わくわくタイム」や外遊びなどで楽しく体を動かせるように取り組む。<br>・ノーメディアを意識して取組めた児童が多かった。引き続きコントロールできる力がつくよう、メディア視聴に代わる過ごし方を一緒に考えながら進めていく。 |                                |        |      |      |
| 2   | ○安全で安心できる学校の実現             |     | 継続  | ・児童と保護者が安心、安全な学校生活を実感できる環境をつくる。                | ・保護者への丁寧な対応と連携<br>・学校からの積極的な情報発信<br>・地域人材等の積極的かつ効果的な活用<br>・行事写真の校内掲示、毎月HP更新作業の時間確保 | ・保護者アンケートによる学校教育に関する項目の肯定的評価90%以上<br>・月2回以上のHPの更新                          | □保護者アンケートで「安心して子どもを学校に通わせている」の肯定的評価96.5% 児童の健康状態や学校での様子を連絡したり家庭訪問をしたりした。<br>□学校HPの更新月2回以上実施 月1回は更新作業をする時間を確保した。               | 3      | 3    | ・児童の課題に対して事実確認等の初動を正確に行い、組織で対応し、保護者との連携を図る。<br>・適宜最新の情報を提供し、学校教育活動への理解を図る。また、グスタティーチャーと連携を取り効果的な活用を行う。              |                                |        |      |      |
| 2   | ○自分の仕事に意義ややりがいを感じる働き方改革の推進 |     | 継続  | ・教職員の心と体の元気が児童の生き生きとした学びにつながるような学校運営を行う。       | ・定時退校日の徹底<br>・入校・退校時刻記録の確実な入力と教職員への助言指導<br>・行事準備や業務遂行のための時間の確保                     | ・時間外勤務月45時間以内の教職員の割合100%<br>・「仕事にやりがいを感じている」と回答する教職員90%以上                  | □時間外勤務月45時間以内の割合92.3% ほとんどの職員が45時間以内にすることができた。<br>□「仕事にやりがいを感じている」と回答した職員の割合100% 授業づくりや全校での取組を協働で行い、子どもたちの成長をお互いに実感することができた。  | 3      | 4    | ・30分前声かけを行い、平時の18:30までの退校と週1回の定時退校を習慣化する。<br>・月の行事予定に作業や研修の時間を設定する。また、いつでも報告、連絡、相談できる職員室の雰囲気醸成する。                   |                                |        |      |      |

[プロセス評価の評価基準]

| 評点 | 評価基準   |
|----|--|
| 5  | 取組の目的に対する共通理解が顕著に認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が十分に図られた。   |
| 4  | 取組の目的に対する共通理解が認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が概ね図られた。       |
| 3  | 取組の目的に対する共通理解が一定程度認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決がある程度図られた。 |
| 2  | 取組の目的に対する共通理解が認められ難く、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決があまり図られなかった。  |
| 1  | 取組の目的に対する共通理解が認められず、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決が図られなかった。      |

[達成評価の評価基準]

| 評点 | 評価基準                   |
|----|------------------------|
| 5  | 目標を大幅に達成し、十分な成果をあげた。   |
| 4  | 目標を概ね達成し、望ましい成果をあげた。   |
| 3  | 目標をある程度達成し、一定の成果をあげた。  |
| 2  | 目標を下回り、成果よりも課題が多かった。   |
| 1  | 目標を大きく下回り、成果が認められなかった。 |

[総合評価の評価基準]

| 評点 | 評価基準            |                 |
|----|-----------------|-----------------|
| 5  | 100%以上の達成度      | 十分に目標を達成できた。    |
| 4  | 80%以上100%未満の達成度 | 概ね目標を達成できた。     |
| 3  | 60%以上80%未満の達成度  | ある程度目標を達成できた。   |
| 2  | 40%以上60%未満の達成度  | あまり目標を達成できなかった。 |
| 1  | 40%未満の達成度       | 目標を達成できなかった。    |